

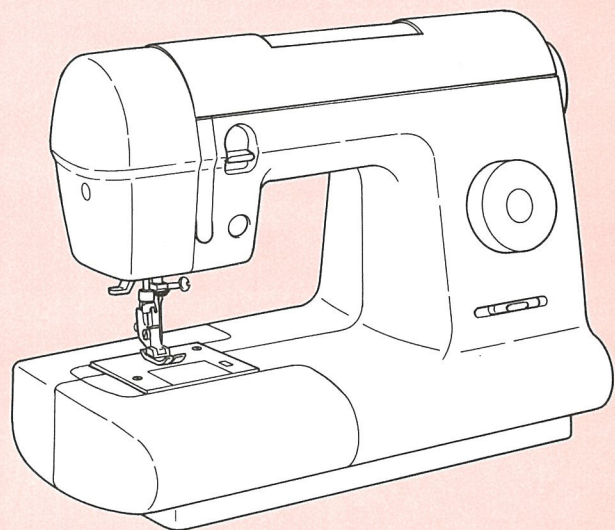
JUKI

電子ミシン

COSER 50

コセール

取扱説明書



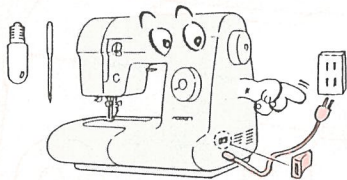
COSER(コセール)はスペイン語で「縫う」語意です。

お買い上げいただきまして まことにありがとうございます。

このミシンは 直線ぬいを初めとして
ホームソーイングに適した数々の模様ぬいが内蔵されています。
正しくミシンをご使用していただくために
どうぞ この「取扱説明書」をよくお読みいただき
ホームソーイングのパートナーとして 末長く ご愛用ください。

正しくご使用していただくために下記のことは必ずお守りください。

針のとりかえ、ランプの交換、掃除などのときは
必ず電源を切ってから行ってください。



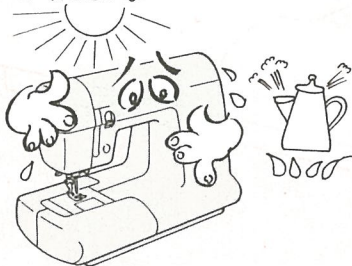
○特にカバー類をはずす場合はコンセントから
プラグをぬってください。

お子様の手の届くところに置かないでください。

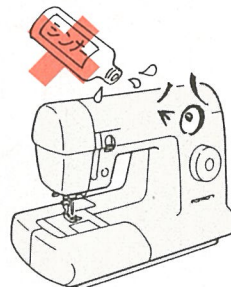


●特にプラグをコンセントに
つないだ ままだと危険です。

直射日光が当たる場所、湿気が多い場所には
置かないでください。



シンナーなどの溶剤で ぶかないでください。

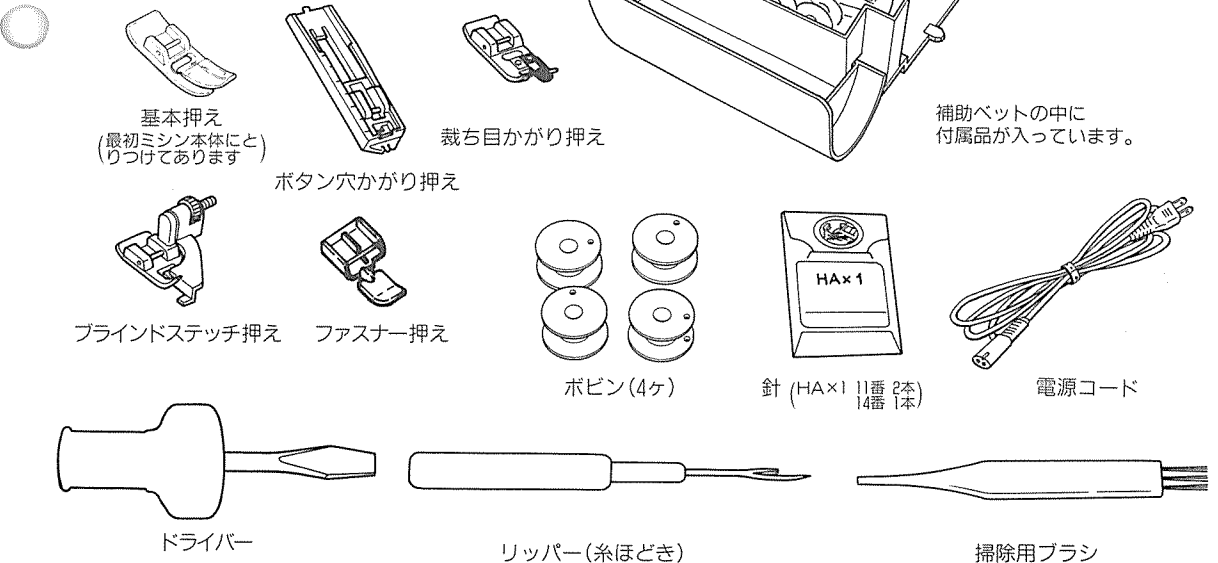


●やわらかい布に
中性洗剤を少量つけて、
よくふきとってください。

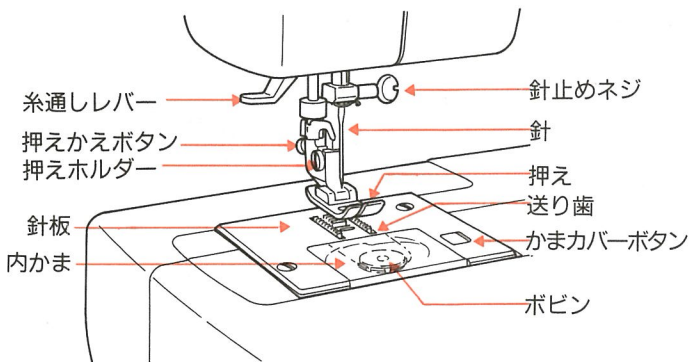
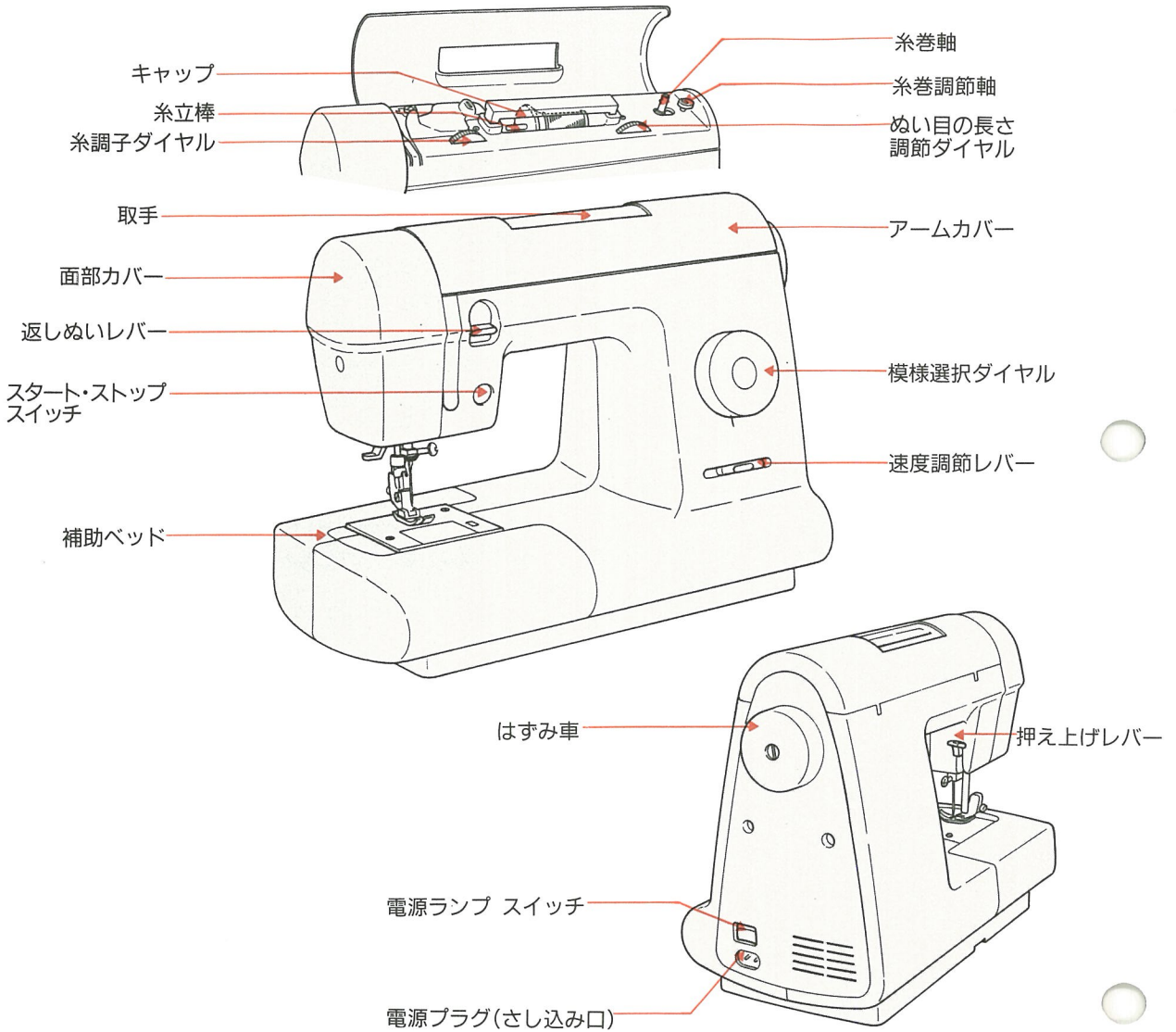
も く じ

付属品	2	直線ぬい	9
各部のなまえ	3	返しぬい(ほつれ止め)	
フリーアームのセット		ジグザグぬい	10
主なはたらき	4	ボタン穴かがりぬい	10
下糸の準備	5	裁ち目かがりぬい	11
下糸巻き糸のかけ方		ファスナーつけ	11
ボビンを内かまに入れるには		伸縮強化ぬい	12
上糸のかけ方	6	まつりぬい	12
針自動糸通し		突き合わせぬい	12
下糸の引きあげ方		ランプの交換	13
押えのとりかえ方	7	ミシンの手入れ(掃除)	13
針について	7	コントローラー(別売品)のご案内	13
針の交換、針の選び方、調べ方		サービスをお申しつけになる前に	14
押えと各模様の関係	7		
糸調子の合わせ方	8		
各模様のぬい目の長さ調節範囲	8		
布地・ミシン糸・ミシン針の関係と合わせ方	8		

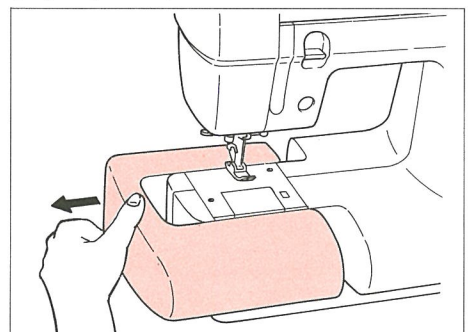
■付属品



■各部のなまえ



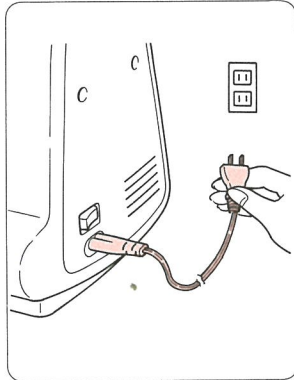
フリーアーム



補助ベッドを左へ引きますとフリーアームになります。

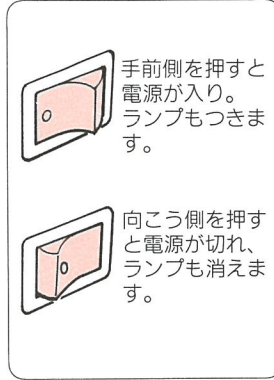
■主な はたらき

電源コード



ミシンを使用しないときは電源プラグをコンセントからぬいてください。

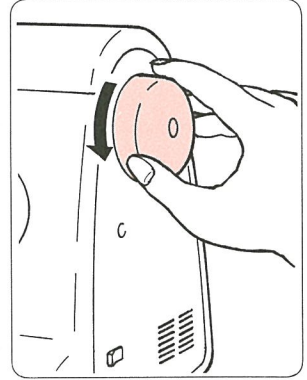
電源ランプ スイッチ



手前側を押すと電源が入り、ランプもつきます。

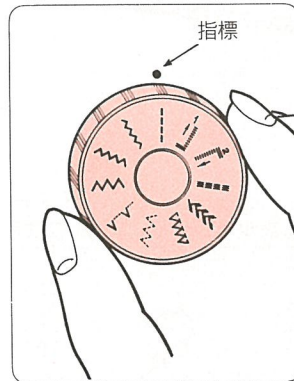
向こう側を押すと電源が切れ、ランプも消えます。

はずみ車



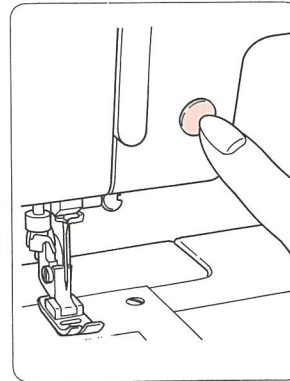
はずみ車を回すと針が上下します。はずみ車は、必ず手前に回してください。

模様選択ダイヤル



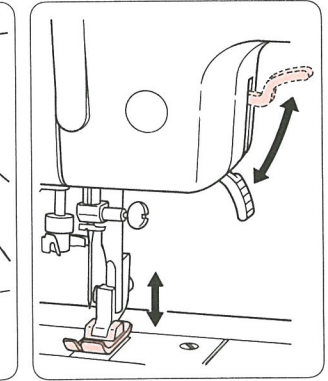
模様選択ダイヤルを回し、指標に模様を合わせると、その模様がぬえます。

スタート・ストップスイッチ



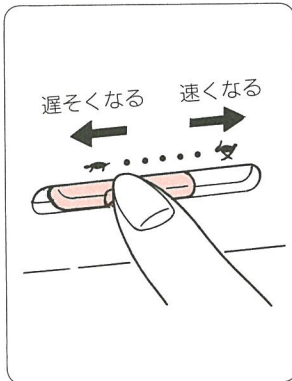
ミシンをスタートさせます。再度押しとストップします。

押え上げレバー



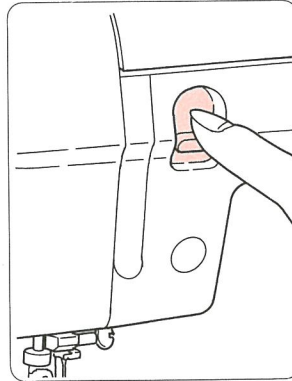
上にあげると押えがあがります。下へさげると押えはさがります。

ぬい速度調節レバー



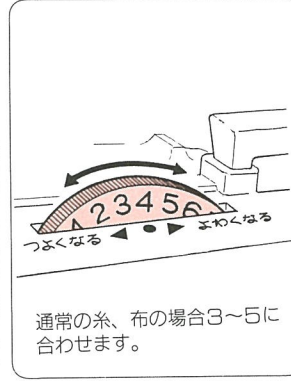
ぬい速度を調節します。

返しぬいレバー



ぬい始め、ぬい終りにレバーを押すと返しぬいができます。

糸調子ダイヤル



通常の糸、布の場合3～5に合わせます。

左に回すと糸調子が強くなり、右に回すと弱くなります。

ぬい目の長さ調節ダイヤル

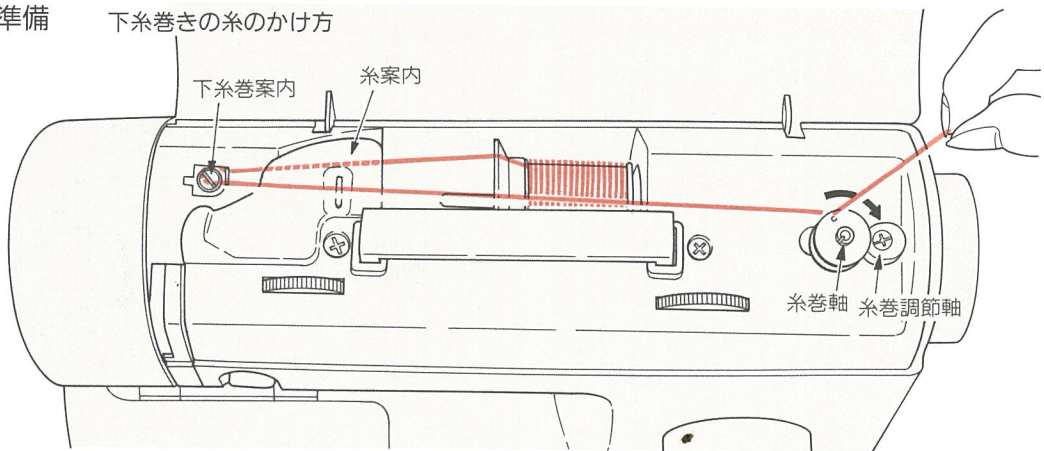


この模様は自動的に最適なぬい目が設定されていますので調節することはできません。

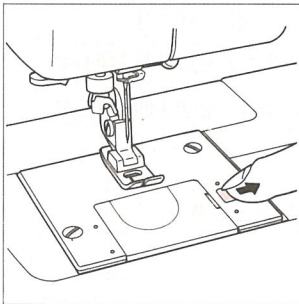
数字が小さくなるとこまかく、大きくなると荒くなります。

■下糸の準備

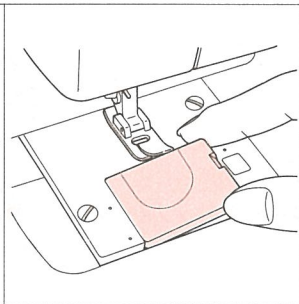
下糸巻きの糸のかけ方



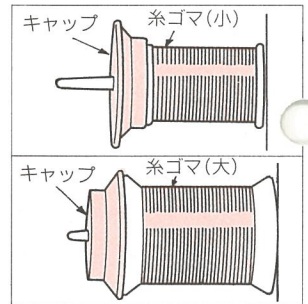
1 かまカバーを開けます



2 ボビンをとり出します

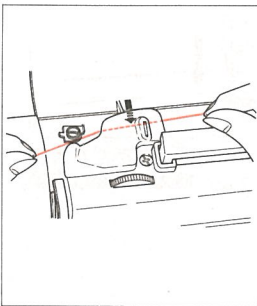


3 糸ゴマをセットします



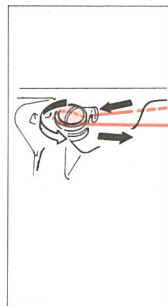
糸ゴマの外周に応じてキャップの裏表をかえてとりつけます。

4 糸案内に入れます

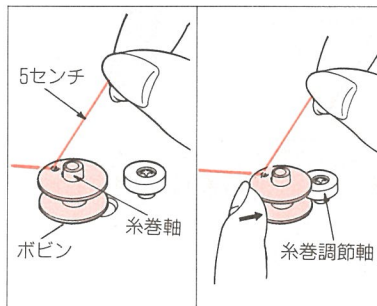


両手で奥まで入れます。

5 下糸巻案内にかけます

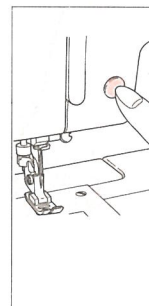


6 ボビンを糸巻軸にセットします



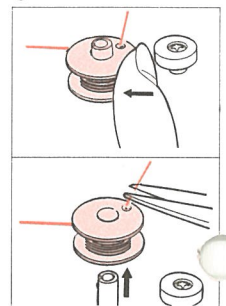
ボビンを糸巻調節軸へ押しつけます。

7 スタートさせます



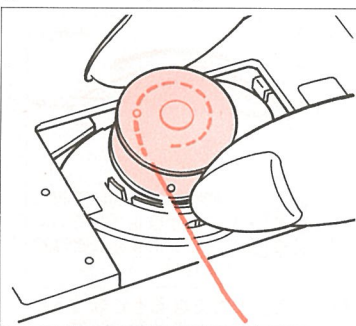
巻き終わったら再度スタート・ストップスイッチを押します。

8 ボビンを左側へもどします



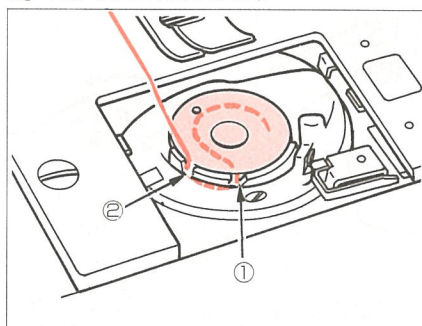
余分な糸を切りボビンをとり出します。

9 内かまに入れます



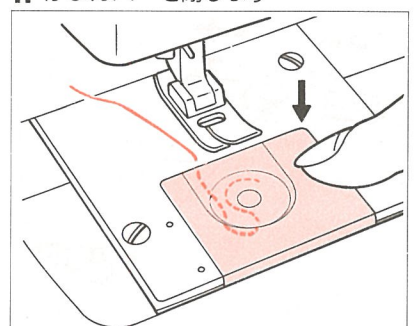
ボビンの糸の巻き方向をまちがわないように！

10 内かまに糸をかけます

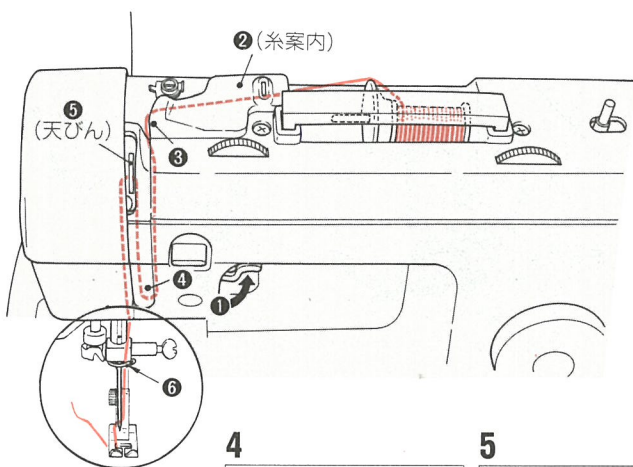


①に糸をかけ ②のミゾの上へのせ後ろへもって行きます。

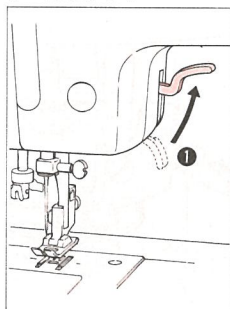
11 かまカバーを閉じます



■上糸のかけ方

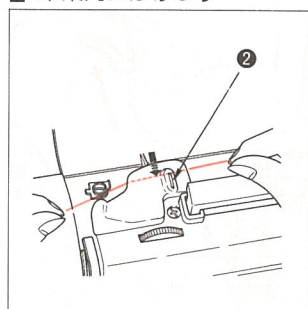


最初に押え上げレバー
1 をあげます

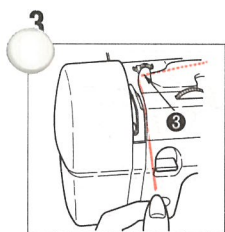


押えをあげると糸調子
皿が開きます。

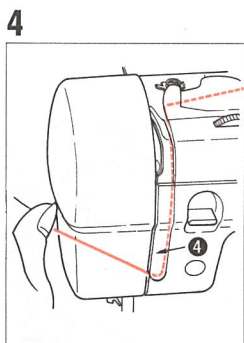
2 糸案内にかけます



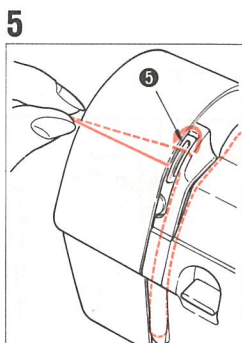
両手で奥まで引きよせます。



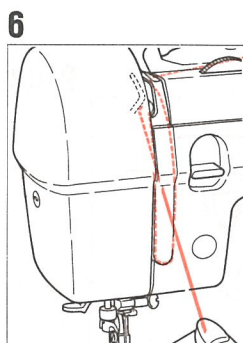
③から下へおろします。



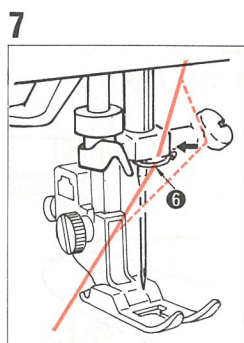
④から上にもって行きます。



⑤天びんにかけます。



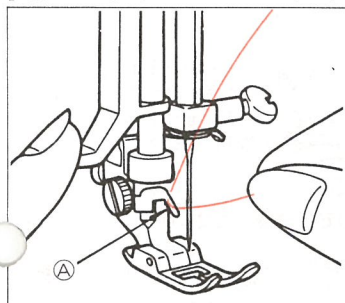
⑥は右側からかけます。



⑦は右側からかけます。

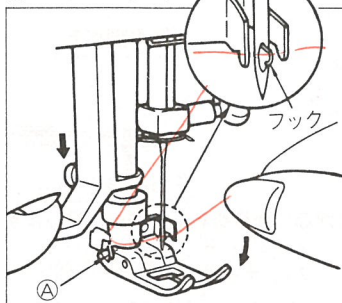
針自動糸通し

1 押えをさげ 糸通しレバーをさげます



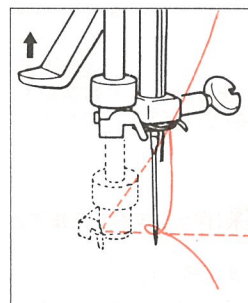
針が一番上にあげ 糸通しレバーを
途中(重くなる直前)までさげてAに
糸をかけます。

2 フックにかけます



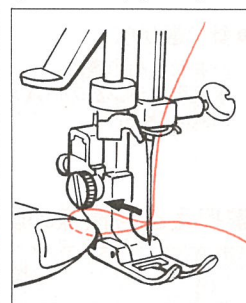
さらに糸通しレバーをさげてフック
に糸をかけます。

3 糸通しレバーをあげます



指をはなすとフックに糸
をひっかけて針穴に通し
ます。

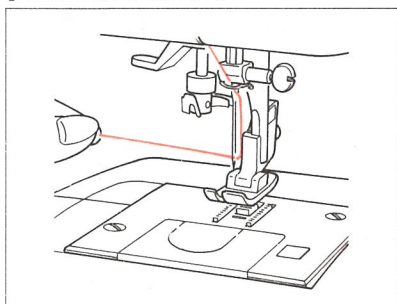
4 糸をひき出します



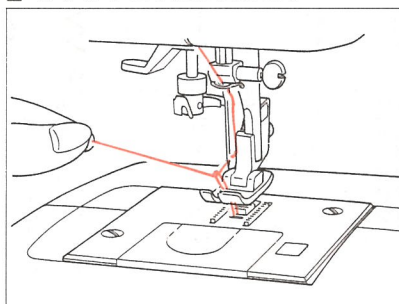
通した糸を針穴から10セ
ンチくらい引き出します。

下糸の引きあげ方

1 上糸を軽くもちます

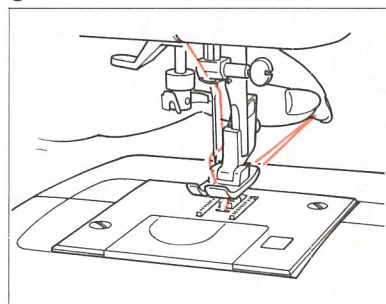


2 はずみ車を手前に回します



針が上下して 下糸を引き出します。

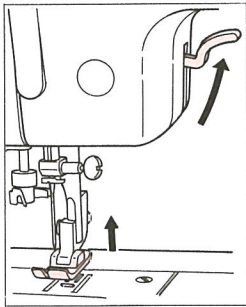
3 上・下糸を10センチ出します



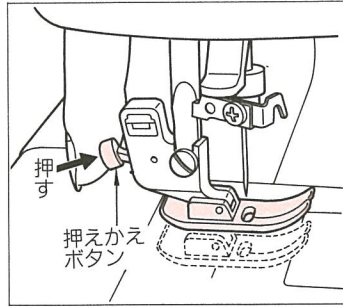
上・下糸を押えの下にして後ろへそろえ
て出します。

■押えのとりかえ方

1 押えを上げます

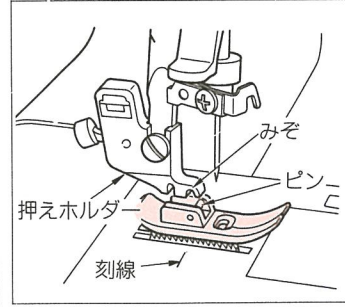


2 押えをはずします

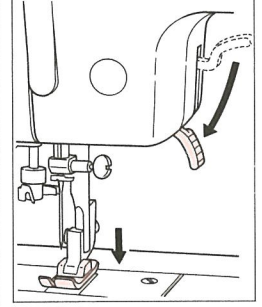


押えかえボタンを矢印の方向に押し
ます。

3 押えのピンと刻線を合わせます



4 押えを下げます

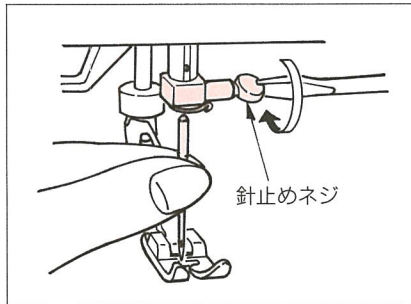


押え上げレバーを下げると
押えはセットされます。

■針について

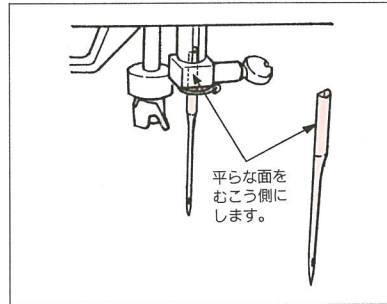
※針の交換のときは 必ず電源を切ってください。

1 針のはずし方

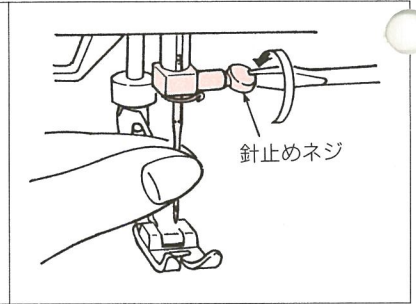


針を最上部にあげ針止めネジをゆるめます。

2 針のとりつけ方



針の平らな面をおう側に
して上方へ当たるまで差しこみます。



ドライバーで針止めネジをかたくしめます。

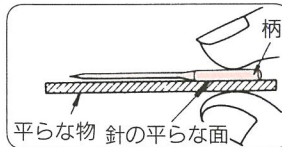
●針の選び方

針をお求めの際は
家庭用ミシン針のHA×1 または
HA×1KN(ニット針)を指定します。

太さの番号表示
数字が大きくなると
針が大きくなります。



●針の調べ方



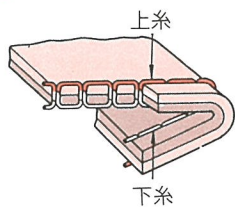
すき間が針先まで平均に見える
のが良い針です。
針先が曲ったり、つぶれている
ものは使わないようにします。

■押えと各模様の関係(押えをまちがえますと針がぶつかり折れたり曲ったりしますのでご注意ください)

押え	基本押え					ファスナー押え	裁ち目かがり押え	ブラインドステッチ押え	ボタン穴かがり押え
模様	— — —		~~~~~ (小) ~~~~~ (中) ~~~~~ (大)	~~~~~	~~~~~	— — —	~~~~~ (大) ~~~~~	~~~~~	↑ ↓ ↓ ↑
主な用途	直線ぬい	伸縮強化ぬい	ジグザグぬい	三点ジグザグ 裁ち目かがり	パッチワーク	ファスナーつけ	裁ち目かがり (オーバーロック)	ブラインドステッチ (まつりぬい)	ボタン穴かがり

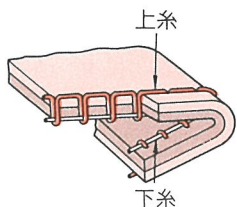
■糸調子の合わせ方

○ 正しい糸調子



上糸と下糸のからみが
布の中心になるのが
正しい糸調子です。

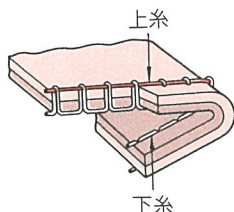
✕ 上糸の調子が弱いとき



糸調子ダイヤル目盛の
数字を大きくします。



✕ 上糸が調子が強いとき



糸調子ダイヤル目盛の
数字を小さくします。



■各模様のぬい目の長さ調節範囲



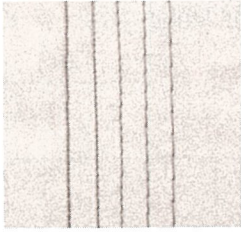
模 様	調節範囲	調節(0.5~4)例	
		直線ぬい	ジグザグぬい
直 線	0~4	~	~
ジグザグ	0~4	~	~
ブラインド	0~4	~	~
三点ジグザグ	0~4	~	~
スーパー模様	自動	自動的に最適なぬい目の長さが設定されていますので調節できません。	
ボタン穴かがり	0.2~1	(0.2)	(1)

■布地・ミシン糸・ミシン針の関係とミシンの合わせ方

	布 地	ミ シ ン 糸	ミシン針	ぬい目の長さ		糸調子の目安
				直線ぬい	ジグザグぬい	
薄地ぬい 	ローン	絹ミシン糸 80~100番	HA×1 (9番)			
	ジョーゼット	化繊・細ミシン糸 90・100番	11番			
	トリコット	化繊ミシン糸 60~100番	ニット針 11番	1~3	1~4	
	ウール・化セン布	絹ミシン糸 80番 化繊ミシン糸 60~100番	11番			
普通地ぬい 	普通木綿・化セン布	綿糸 50~80番 化繊ミシン糸 50~60番	11~14番			4~6
	薄手ジャージー	絹ミシン糸 50番 化繊ミシン糸 50~60番	ニット針 11番	1.5~3	0.5~4	
	一般ウール・化セン服地		11~14番			
厚地ぬい 	デニム	綿糸 30~50番 化繊ミシン糸 30~50番	14~16番			5~7
	ジャージー	絹ミシン糸 50番 化繊ミシン糸 50~60番	ニット針 11~14番	2~4	0.5~4	
	コート地	絹ミシン糸 50番	11~14番			

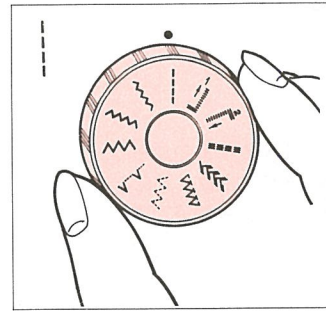
※ニット針(HA×1KN)は目とびを防ぎ伸縮性の布地に適します。

■直線ぬい



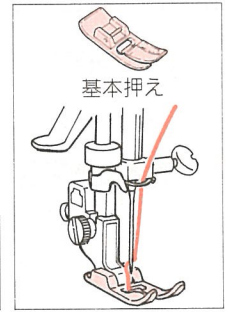
直線ぬいはぬいの基本です。布地に適した針と糸を選びましょう。

1 直線模様を選びます

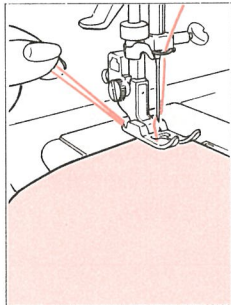


模様選択ダイヤルを回して合わせます。

2 基本押えをとりつけます

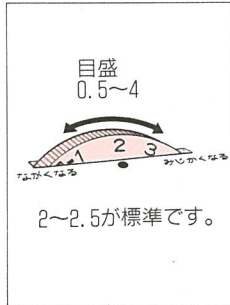


3 布地を入れ押えをさげます



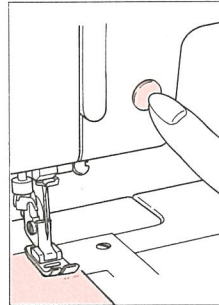
布地を押えの下におきぬい始める位置に針を落とします。上下糸をそろえて押えをさげます。

4 ぬい目の長さを決めます



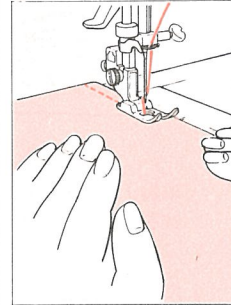
ぬい目の長さ調節ダイヤルを回します。

5 スタートさせます



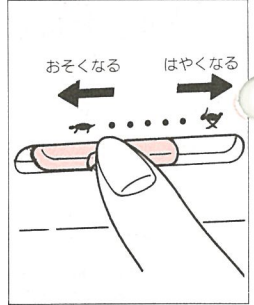
スタート・ストップスイッチを押します。

6 布地に軽く手をそえます



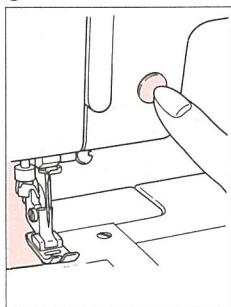
ぬっている間は布地をむりに引っばらないようにします。

7 ぬい速度を調節します



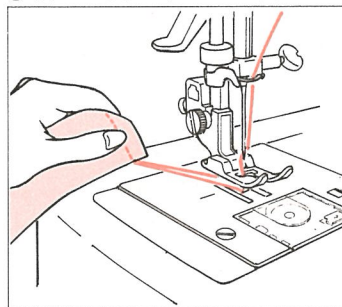
右にすると はやくなり
左にすると おそくなります。

8 スタップさせます



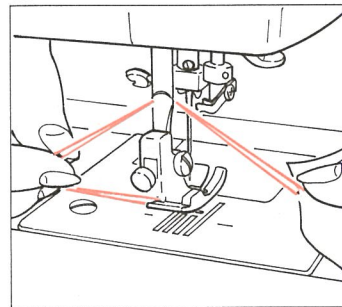
スタート・ストップスイッチを押します。

9 押えをあげて布地をとり出します



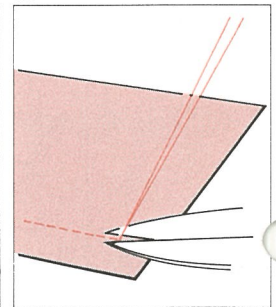
針が完全に止まってから、押え上げレバーをあげます。

10 糸を切ります



上・下糸をそろえて10センチくらい引き出し押え棒の裏側の糸切りみぞで糸を切ります。

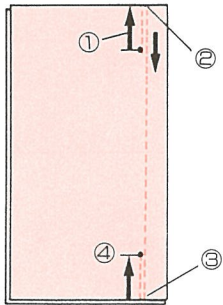
11 糸を結びます



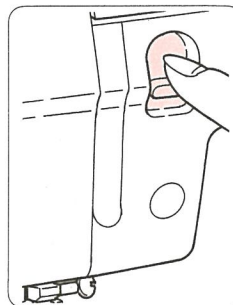
布地の裏側に上糸を引き出し上糸と下糸を結び 結び目のきわで糸を切ります。

■返しぬい

(ほつれ止め)

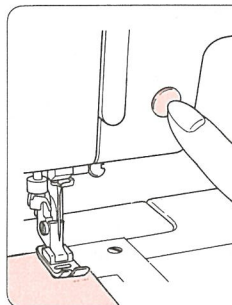


① 返しぬいレバーを押します

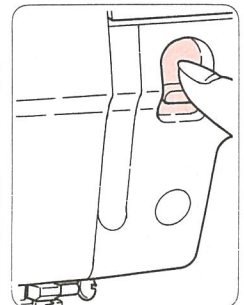


返しぬいレバーを押している間だけ返しぬいをします。

② スタートスイッチを押します

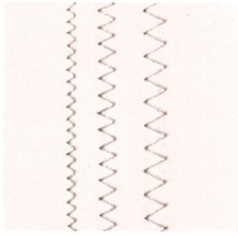


③ ④ 返しぬいをします

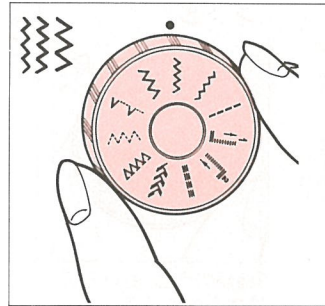


指をはなすとストップします。

■ジグザグぬい

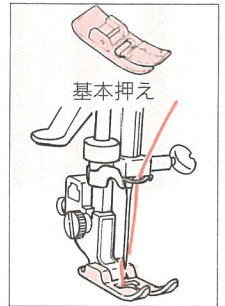


1 ジグザグ模様を選びます



3種類のうち お好みの振り幅模様に合わせます。

3 基本押えをとりつけます



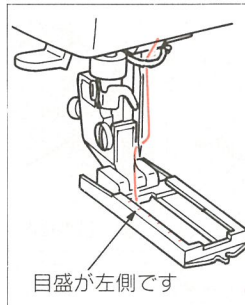
●ジグザグの振り幅とぬい目の長さの関係

ジグザグ模様			
振り幅	小 1.5	中 3.3	大 5
ぬい目の長さ	 0.5 4	 0.5 4	 0.5 4

■ボタン穴かがり

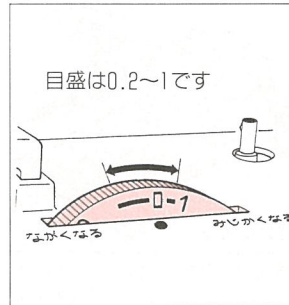


ボタン穴かがり押えをとりつけます

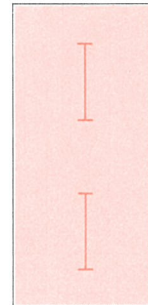


目盛が左側です

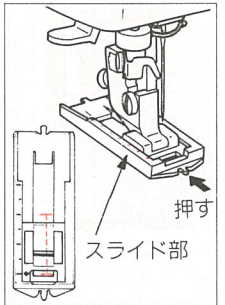
2 ぬい目の長さを合わせます



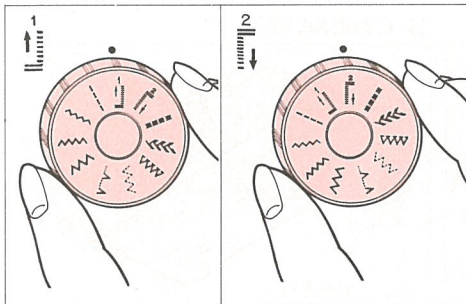
3 ボタン径を測り布地に印をつけます



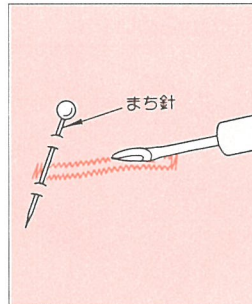
4 スライド部を押して布地の印に合わせます



ボタン穴かがり模様を5 下記順序に合わせてぬいます



ぬい終わったら6 リッパーで穴をあけます



切りすぎないように まち針を使うと失敗しません。

ボタン穴かがりを失敗したとき

失敗した場所により操作がちがいます



をぬっている途中で失敗した場合

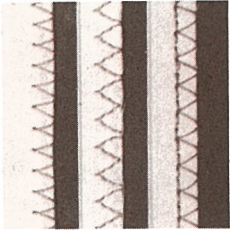
1. 押えを上げて糸をほどきます。
2. 模様選択ダイヤルの「↑」を選びます。
3. 10針ぐらい空運転させます。
4. 模様選択ダイヤルの「↓」を選び最初からぬい直します。



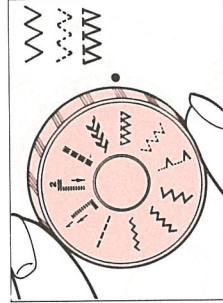
をぬっている途中で失敗した場合

1. 押えを上げて糸をほどきます。
2. 模様選択ダイヤルの「↓」を選び最初からぬい直します。

■ 裁ち目かがり

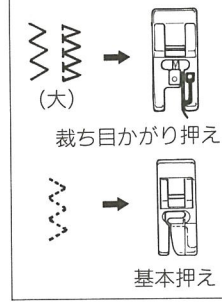


1 模様を選びます



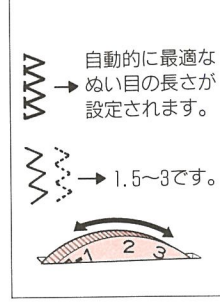
3種類のうち お好みの模様を合わせます。

2 押えをかえます

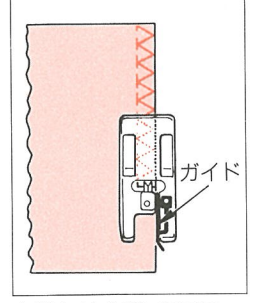


※三点ジグザグぬいは必ず基本押えをお使いください。

3 ぬい目の長さを決めます

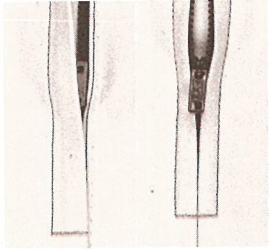


4 使う場合



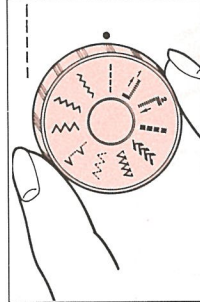
布端をガイドにあててぬいます。

■ ファスナーつけ

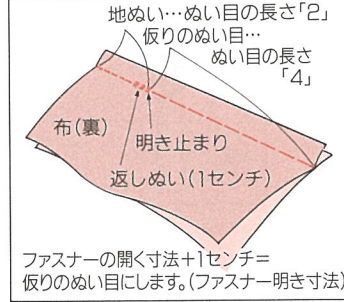


ファスナーつけは一般的に脇明きファスナーつけとつき合わせファスナーつけがあります。

1 直線模様を選びます

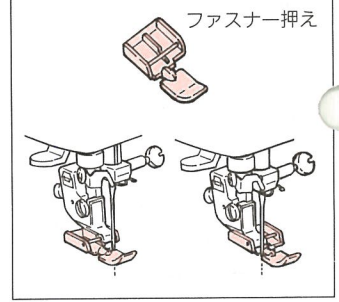


2 基本押えを使い地ぬいと仮りのぬいをします



布地を中表に合わせて、地ぬいととりつけるファスナーの寸法を確かめて仮りのぬいをします。

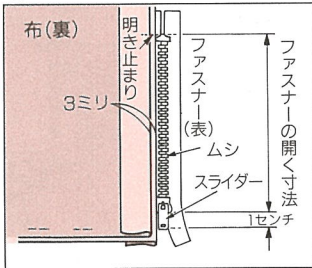
3 ファスナー押えをセットします



ファスナーの右側をぬうときは押えの左にセットします。左側をぬうときは押えの右にセットします。

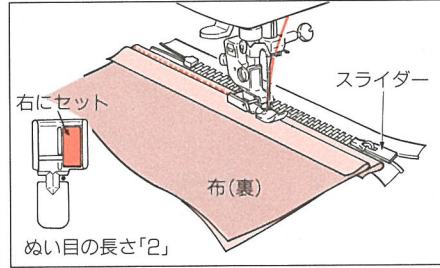
脇明きファスナーつけ

① ぬい代をわります



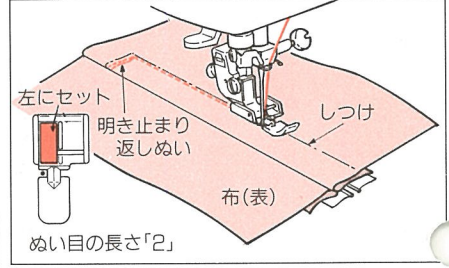
ぬい代をきちんとわり、後ろ布のぬい代を3ミリ出して、アイロンで折目をつけ折り山をムシのきわにあてます。

② ファスナーの下方から上方にぬいつけます



押えの端をムシのきわに当てぬいます。ファスナーのスライダのところは手前5センチ位でミシンを止め、スライダを押えの向こう側へさけて端までぬいつけます。

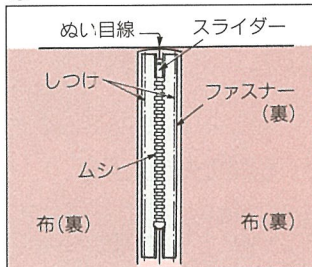
③ してからぬいつけます



スライダを引き上げて、上布をファスナーの上にかぶせてしつけをします。明き止まりの返しぬいをして図のようにぬいます。スライダのところは仮りのぬい目をほどいてスライダをさげ残りをぬいます。

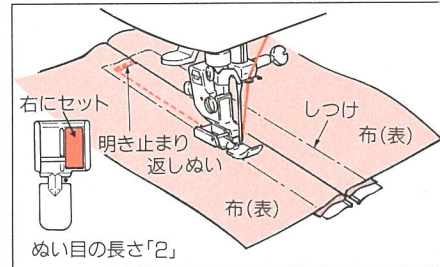
つき合わせファスナーつけ

① ファスナーをしつけます

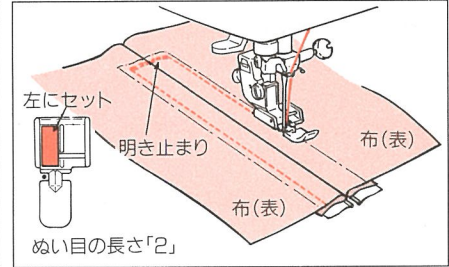


ぬい代をわり、ぬい目線ファスナーのムシの中心と合わせてしつけをします。

② 左側を明き止まりからぬいます



③ 右側をぬいます

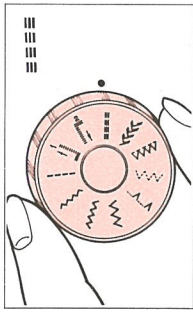


ぬい終わりましたら仮りのぬい目をほどきます。

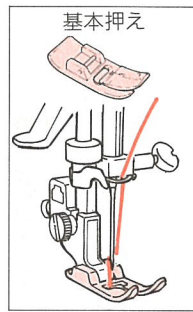
■伸縮強化ぬい (ストレッチステッチ)

伸縮性のある布地や、力がかかってほつれやすい部分などに使うとぬい目がしっかりとします。

1 模様を選びます



2 押えをかえます



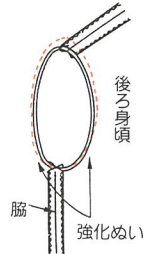
ぬい目の長さは 3 自動的に決まります

この模様はぬい目の長さ調節ダイヤルの目盛がどこの位置にあっても自動的に最適なぬい目になります。

■使用例

●袖つけ

後ろ袖や、袖下に力がかかりほつれやすいところに使います。



●よく使用する ポケットつけ



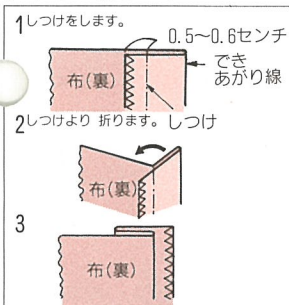
●袋ものにとってつけ



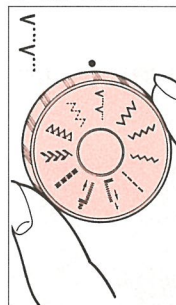
■まつりぬい (ブラインド ステッチ)

裁ち目かがりをして

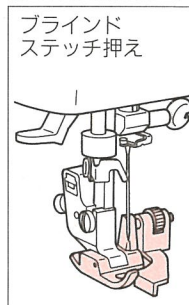
1 布地を折ります



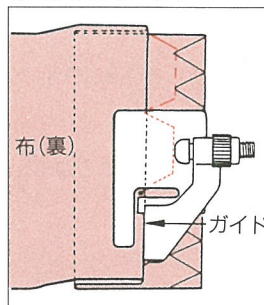
2 模様を選びます



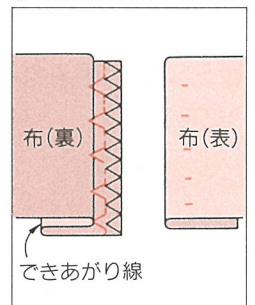
3 押えをかえます



押えのガイドに 4 あててぬいます



5 布地を折りかえします



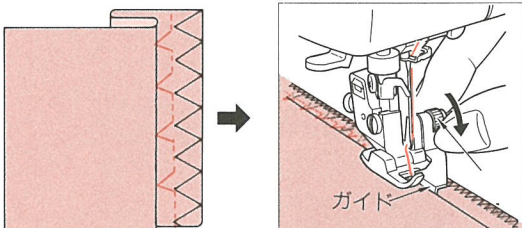
裁ち目かがりは前ページ参照。 ※ぬい目の長さは2~4にします。

押えのガイドを折り山にピッタリあててぬいます。

ぬい終わりましたら 布地を折りかえしアイロンでととのえます。

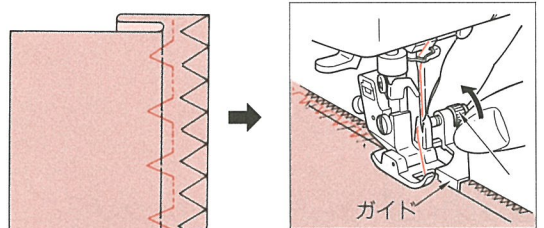
●ブラインド ステッチ押えのガイド調節方法

●折り山にぬい目がかからない場合



ネジを手前に回すとガイドが右へずれます。

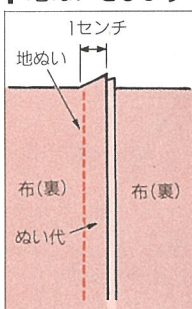
●折り山にぬい目がかかりすぎた場合



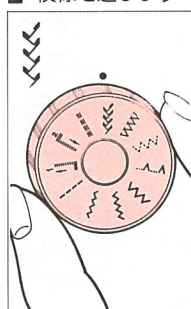
ネジを向こう側に回すとガイドは左へずれます。

■突き合わせぬい (パッチ ワーク)

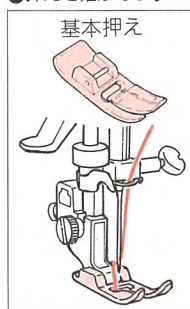
1 地ぬいをします



2 模様を選びます



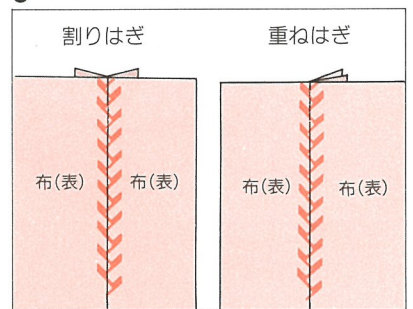
3 押えを確かめます



ぬい目の長さは 4 自動的に決まります

この模様はぬい目の長さ調節ダイヤルの目盛がどこの位置にあっても自動的に最適なぬい目になります。

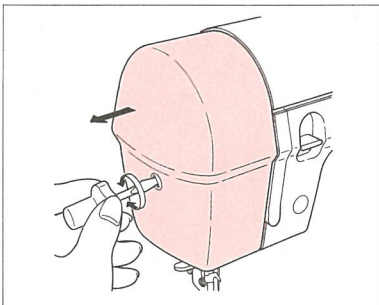
5



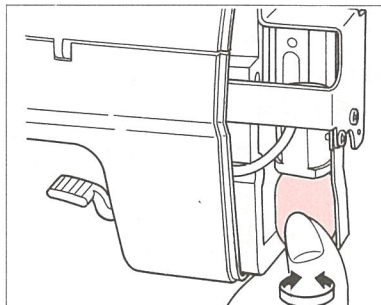
2枚の布地に地ぬいをします。

両方の布地に 模様がまたがるようにぬいます。

■ランプの交換 (面部カバーのとりはずし方)



面部カバーの前面の止めネジをまわし、面部カバーをはずします。



- ランプの消費電力は15Wです。
- ランプのお買い求めの際は、このミシンをお買い上げいただきました販売店でお求めください。

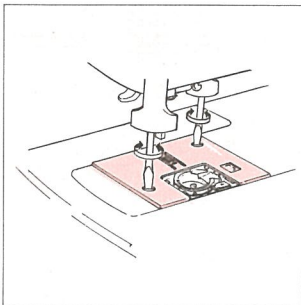
※ランプの交換や掃除するときは必ず室内コンセントから電源プラグを抜き電源を切ってください。

■ミシンの手入れ

糸くずやほこりが たまりますと 故障の原因となります。常にきれいにしておきましょう。

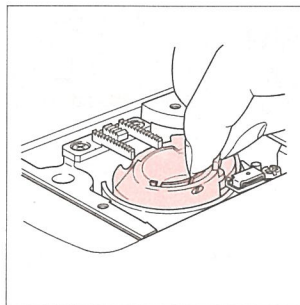
●掃除

針板をはずします

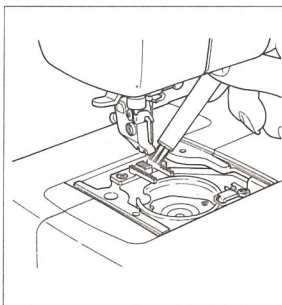


針や押えをはずしてから針板をはずします。

内かまをとりはずします

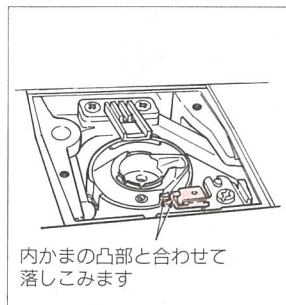


掃除用ブラシを使います



送り歯とかまの中と周辺をきれいにします。たくさんたまってしまったときは掃除機を使うときれいになります。

内かまのセットのし方

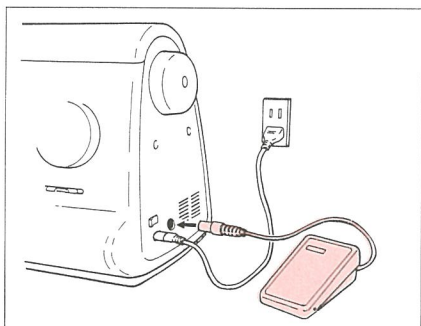


内かまの凸部と合わせて落しこみます

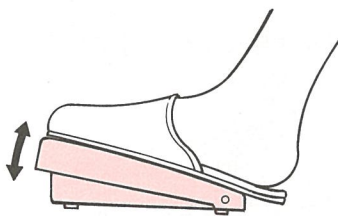
■コントローラー(別売品)のご案内

コントローラーを使いますと足の操作でスタートとストップができます。

※コントローラーを使うときは、スタート・ストップスイッチは無効です。

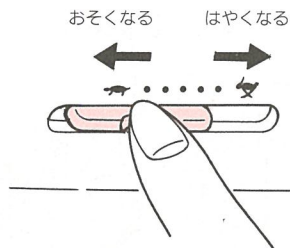


コントローラーのプラグをミシンのコンセントに差しこみます。



コントローラーを踏みますと、ミシンがスタートします。足をはなしますと、ミシンは止まります。針は上で止まります。

ぬい速度を調節するには、速度調節レバーで行います。



返しぬいをするときは、返しぬいレバーを押します。

■サービスをお申しつける前に

下記のような場合は故障ではありません。サービスをお申しつける前にもう一度お確かめください。

現象	原因(理由)	処置方法	ページ
布が送らない	<ul style="list-style-type: none"> ● ミシンが空転しているとき ● 送り(ぬい目の長さ)が「0」になっているとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 糸巻軸を左へもどします ● 送りを「1~4」に合わせます 	5 8
針が折れる	<ul style="list-style-type: none"> ● 針のとりつけ方が間違っているとき ● 針が曲っているとき ● 押えと選んだ模様が合わないとき ● 針・糸・布地の関係が悪いとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 正しくとりつけます ● 新しい針にとりかえます ● 模様に合った押えを使います ● 布地に合った針・糸を使います 	7 7 7 8
上糸が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ● 糸のかけ方が間違っているとき ● 糸が必要以外の所へからんでいるとき ● 上糸の調子が強すぎるとき ● 針が曲っているとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 正しくかけ直します ● 糸立棒、糸案内などにからまわっていないか調べます ● 上糸調子を正しく直します ● 新しい針にとりかえます 	6 — 8 7
下糸が切れる ぬい目ごとぶ	<ul style="list-style-type: none"> ● 針のつけ方が間違っているとき ● 針が曲っているとき ● 糸のかけ方が間違っているとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 正しくとりつけます ● 新しい針にとりかえます ● 正しくかけ直します 	7 7 6
回転が重く、音が高い	<ul style="list-style-type: none"> ● 釜に糸くすがたまっているとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 釜を掃除します 	13
ぬいじわが出る	<ul style="list-style-type: none"> ● 糸調子が強すぎるとき ● 布地と針と糸が合っていないとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● 糸調子を合わせます ● 正しく合わせます 	8 8
スタート・ストップ スイッチを 押しても ミシンが回らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 糸巻軸が糸巻状態になっている ● 針をかまの中に落したままになっている ● コントローラー(別売)がセットされている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 糸巻軸を左側へもどします ● 針をとりのぞきます ● コントローラーでスタートさせるか、とりはずします 	5 — 13
糸通しができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 針が上にあがっていないとき ● 針をとりつけるとき奥まで突き当たっていないとき ● 糸通しレバーをさげたまま(糸通し中)誤ってミシンを回してしまったとき 	<ul style="list-style-type: none"> ● はずみ車を回して、針を最上点にあげます ● 針を正しくとりつけます ● はずみ車を手でわずか向う側(ぬうときと反対)に回します 	6 7 —
模様ダイヤルが回らない場合		<ul style="list-style-type: none"> ● 押え上げレバーを上げ、はずみ車を手前に2~3回 回してください 	—



アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、
下記、営業所へお問い合わせください。

北海道特販営業所	〒060	札幌市中央区南五条東3-14-5	☎011(512)6895
東北特販営業所	〒980	仙台市青葉区錦町1-1-2	☎022(261)7081
東京特販営業所	〒160	東京都新宿区大久保2-5-22	☎03(205)1185
大阪特販営業所	〒530	大阪市北区曽根崎新地2-6-21	☎06(348)1351
広島特販営業所	〒732	広島市中区富士見町4-22	☎082(246)7711
九州特販営業所	〒812	福岡市博多区博多駅東1-9-5	☎092(474)4947

JUKI 株式会社

〒182 東京都調布市国領町8-2-1

☎ 03-480-5656

